理するものである、また國際間の一致、この種理論はよく中國々民の心理。好の彼岸に到達せんここを希望して

外日支交渉に

が、よくくコープーである限りの責任を盡したことを受渉に對する興論は等しく中國

國の立場を諒解し

合理的判斷である、日支交渉の

未解決豫算折衝は

7. 一方者を網羅して委員會を設防心すべくこれが具體深の作成に努めてゐる日力者を網羅して委員會を設防心すべくこれが具體深の作成に努めてゐるのは、本附は近く官民語の主要は能来が通りの開闢の聯聯の影響地場中を再能にくされてゐたが、且下の平島の職機繁則し監山艇

官民委員會創設、具體案を作成

研究される性子となつてあるものは

が二十一日西旬代理大使よりの類。様すべく縁起交換を行つてあると「住める続に場所には重す者はが実

酸泉され以は雄失のため一家族の

は多くは家屋が大半

係は地域は難部胎三名

「野に出づる柳緑と既へられる。」 金地帯に飛鯨してある市内に居仏と、既にて近く革命政府承認の ないが市民は角物を単に群んで安

政府と正の本流した結果南米流園イタリー南國政府がスペイン革命

現は一進一週で苦し

ことで、 ・ こまだそんなにいつまでも、打解 ・ こまだそんなにいつまでも、打解

服 頓作

変や

外かし架点以

を組ませる

【マドリッド、十日間監】首連

進一

低値よりの報道に依ればドイツ ク、タイムスのサンチャコ特 **啞濟情勢に對應**

地方分散を圖

東京北西一戦府は南洲國内部計 **炯餘金支出**

國境警備費 するに決し動成を終て廿一日の官組督所特別の計判除金中より支出

通告を誤受すると共にイーデン

命政府からパルセロナ港対策のロンドン二十日同盟 スペイン

最大学的社会を対する。 電外野便局長・末水

外相は直ちにスペイン駐別大使チ

十九日夜同代理大鉄と何見し とtieとカズロソスキー極悪部

舶米諸國

革命政權承認

建基範便局長 中村 最安東郵便局長を命ず

行や面倒だる ざつくばらんに吐き

動食

が生えもやで車だる から染ねえる

世二

133

山田園選」ニュー

英政府强硬

残されて行つ 一七行く足 百だ

愛が朗らかに

司長



北平廿日同盟」蒙古軍都司令德 副司令皇王と述名で十九日國

侵種が知何に要古民衆を窮迫せの政治的権迫及び地域的に蒙古過去二十年間に於ける福兵政府

全般に亘つて大敗憲を着々質施しつくあり、今後一般の援助と期待を乞よ

國民を煽

明は國民統部の歴度を內外に明示一弦を失いつくありと闡明してゐる「僧見古日問盟」中央官僚部の整一伊護生により簡単奏部は既に重要

就娛樂大家揃ひ

かける結果となるべく一方該事 | 事質は明白で今後の交渉に多大の | 暗影を投するもの

中央宣傳部、聲明を發表

遂行解法に則りを個人民が國家に貢献せんことを希望さ 南京交渉に暗影

は今後の肥月前日風潮に一部和戦。以て南京を沙に弾せんとしてあるせしの関系の岩日配僧を帰つた點。は鍛造問題の責任を日本に鞭撻し 後に日本ありとの印象を強く認識。意を加賀に懸葬したもので支那側 したもので気が公式設里事件の背」は日支交渉に関する支那側の不設

日同温)國民家中央官傳部は

桜東の筆鬣に向

決定したい意同であるが確確

があったので勝川沿見官様は直ち

を行ふことに決定しその問政 出版要求については考慮する同 、たので有職議解後に開かれる 日相はさきに調査質問上歴史

工場をはじめ社業全部門に亘りて擴大強化を闘り、更に最近の内外多端なる諸情勢に別題また闘遇3 1億を 返避 ろくめる本質は、さきに感給「魚質湯に引きつとき前三十郎年を迎くて編輯、管業、

繼續費の點で意見一致せず

特派員を増員配置して外図電報網を充實せしめ、

より本紙

) 比非比级P:"上":"上量山思秋氏(大阪商船京城

施氏 (雑児地球 二十二

歌する事にした。さらに「膝近一蹬と複雑化した」政治については、多年政界通と 動員哲師もつて更京都に劣いざる内容を自員せんとするものなれば、 領師大進出が豫認され、これが爲め中央財界の動きは前後半島領南界を動 政治經濟に新局 經濟記事については南総信の産業大開展の方鉄に関じ、内地形と 指導の下に政治及び經濟記事に力を注ぐ事とな 東京支社通信部の擴大强化

羅夫氏 (代議士) 人城中

段上氏 哪頭油肥脂埋却投 篇工作课長 计日验的 長 廿二厘

難は上るらしい間の大様んだの場句、

最新科學の紹介説明及び奇拔な新知識の報道にEDを注eの表法、趣味と無難願にありては、科學時代と解せられる動代に属する等や

面型的文學一般趣味方面にも解れる方針である

水

ーツ欄を特設

近州経女盛んと

申込下さい

『スペロイン』は全

類 三目分六拾號 六日分 第四、十五日分試円、 第四、十五日分試円、 四十五

百感氣ぜ心ぜ氣管支性 管んを 支える で骨える

主治效能

活に必要な諸事項を主とし、また解人界の得品際」を拡大し、「無味を異態験」を新歌する、婦人殿には家野 人と家庭擴張 趣味と思惑新設

の節は直接本舗へ御國際店に取次がれて

開議 紛糾を来て供れがあるので

節性解決に使つの外なくこれを一所その他に関し、欧州一般の申出でよって結局三省投算については第二二十日夕別戦友管より開催時期塩

要求の中大統省主治局に計し役も「東京定話」明平度斉省復帰復活

家に特に乞ふて原稿の執筆を依頼し訳よる亀さまとしてを期してゐる、忠またこの緊急能量は時じて著名なる界を知らんどするものにこつて見逃せぬ本紙とな

廿五銭密鉾四拾五銭安をす意理的金は無料代金引替内権

全國藥店に有り

大阪市天王寺岡京本野町三丁目会は東田野本坂で五二四番館替大坂で五二四番館が大坂で五二四番

りあ物セニ◎

たまし、龍子のまったのであら

朗明春

力で行くのさ 紀余行は、も

ふ乞を定指御とLンイロベス】

1:1

人は田舍者?

樓上町の强盗追跡急

脳品を發見

下親配名を中心に各書が殴力犯人でに犯人の目星もついたらしく目別、既高物色配置は極められ、す

被害品に似た

バ發見

一日續のお休み

総、最近に包まるマダム連よ、よくこの岩久和の顔をお聞き下さい、これは銅漱の岩なが静脈を贈ぎまてと続きもものかはと編の校底に逃避けた巡蜒弾デスゾ、節、階、深の各組が、今たけなはに難断診縁を浮熱にやつて居ます、テレビと共にお聞き下さい、(岩沢はその勇ましい競技)

氏は窓外元気で南氏 据所至最大民运

に入つた、ジャピー

が握されつたテス、毛茂の路に埋れて『アー巻い』と倒行くブルの被駆から複雑だる召集の綴動す機能に合せて頂ましいコーラ

の実大、二十一日朝紀を到す南山颪の下で三坂の京城部二高広

◆──京城二高女の競技會

◇寒風に踊る制服の處女◇

を掘って原五時ジャ 会久保山診

単一氏を診察した後 関リー氏を診察した後

ば本人の希望通り れば完全に原治す

a持つて反抗するのを業項で締め

置もに自動車、時生面職者、直もに

けさ福岡醫大病院に入院

解がせた標上町の弧鉛線人は府内 合著の元常ベルが鳴ると同時に、

は な機調を行った結果間を散戦に至した機調を行った結果間を散戦に行った。

らすべくヤスリでこすつたあとが

に**通**じた者

本町署では以上町最総事性養生と

配では他用せず、商品等でよく権 細長いもの で豊重3家 長さ約一尺位の機器に努めてゐるが他人の理器は

の別近で遊り、緊張すると同時に

『類、異刻廿日の夕雨口の京城を しふ

関跋の下りてゐるのを注意せずに突破するなざ所に對う。講願や無難ずりから太軍を認言するものが繰ぶます。(新聞者と)の震撃をいさらうが、『新聞事故は自動車運・轉手が無謀にも列車と「就走したり速水々々にされ 旅客に非常な迷惑を與へてゐるので、無瑕、過少驚驚切の自動調道(益:『時間所にはフラッ迦》学や男子が終してゐるが、このため列車は脫線輯復したり、機關車が毀れたり、ダイヤは滅道層では去21回以来上七般によ

所名新たま

警務局各道警察部に對し

野を紹介せしむることとだり、目 「文件器に命じたが高家も朝印入

踏切り注意の勵行を迫る

総方を依頼し線に自然限の、恵則第八十二億の「研想」で、選立とは貴重の戦力を通過せんとする場合に於って「たん停車なって来たのでこの重大部に成みて「避難局では」、三日中に「中東」解務局及び各道警察部に「厳重自動車側

鐵道ダイヤを飼す

士二月二十二日に愛婦主催 は神 心に参照して 厳かに ひゃん さらに各 梨枝の見質 播し、赤阪を炊いて皇太子

昭和七年以來の犯行

が城色力の金塊器を整塞性は引

は昭和七年以來四年間に置り、き 形寡部長等が調べてゐるが、事性 さつどき本町名一見前法主任平野 京城場治町二丁目和金商一撃単位を扱った時前護不十分で そばの梅鉢全焼 珍盆栽千五百圓も丸燒

新天にそれぐ | 出版所能に勤政を | て前径名跡の観路を支管を含 取り場としてもって有名な概念さんに残 から数火間気を発展。頃に降りにおけたが氏の伝熱時代に行はれた | 一の入飲食塩極が動気に入すンドルと | 記載たけで | 一寸 | 一十五百回にはあ | 一方でが、近次方面は、「原内に中で、食時間氏は通力の養極を | 瞬の一の土張部門氏ガオンドルと | 記載たけで | 一寸 | 一十五百回にはあ | 一方でが、近次方面に、「原内に中で、食時間氏は通力の養極を | 瞬の一の土張部門氏ガオンドルと | 記載たけで | 一寸 | 一十五百回にはあ | 一方でが、近次方面に、原内に中で、食時間氏は低力の養極を | 瞬の一の土張部門氏がよいドルと | 記載たけで | 一寸 | 一十五百回にはあ | 一方でが、近次方面に、原内に中で、食時間の大配人を難し腑に出を | 中一日午前三時十分ごろ京城制計 | 総裁いちりで有名な概念さんに残 から数火間気を全成。頃に降りにをに向いる支配人を難し腑に出を | 中一日午前三時十分ごろ京城制計 | 「他れたちないだった」 | 下往十里前九四三時期後に、こうに向いの支配人を難し肺に出を | 中一日午前三時1分に入る京城制計 | 「本年)

ストーを含えることとなり、引

「新を紹介せしいることとなり、引

「中で、不関、有きらり、というと、一般にしてあり、一般にしてあり、一般にしてあり、一般にしてあり、一般にしてあり、一般にしてあり、 一般にしてあり、 一般にしてあり、 一般にしてあり、 一般にしてあり、 一般には、 一般には、 一般には、 一般には、 一般にしてあり、 一般には、 一般にしてあり、 一般にしているというに、 一般には、 一般にしているというに、 一般にしているというに、 一般には、 一般には、

無色小重 物 紋 紋 地付 入 類

許特賈專

りあれ店品粧水・店童・トーパテ各 社会式は水香醤金

Ų

守備隊

施践十五周年の記念年業の一たる。み、象別以上の好果を展げ最初本一

施政

州周

年記

念日

に開

館

綜合機動射理設はその後駆向に逃

府、原権した管府並自的回は廃定

京城府本町二丁目

社會計時ムサルオウ國米

部 成 部 成 報 成 報 元 原 電 記 正 原 電 記 正 原 電 記 正 原 電 記 上 作 2 元 を で の 変 正 か こ ま に か た で か た で

近で京城名館の一つが増えること

廿一日朝の概況

腕腕懷 時時時

を引て、伊存開頭される難展とこ

魔の中質発着護長以下十名の規続的者を出した、高的機に飛馬で駆けつけた公司、軍隊の手営を受けてある。アクで国動議行の途中、同三度ごろ三浦無在同期近の叛路に避かよつた隴トラックの転喚を開り二支郎の隊はから越連続に襲路し、アクで国動議行の途中、関三度ごろ三浦には、アクロの戦争を開り二支郎の隊はから越連続に襲路し、アクロの戦争を開け、アクロの戦争を開け、アクロの戦争を開け、アクロの戦争を開け、アクロの戦争を開け、アクロの戦争を開け、アクロの戦争を開け、アクロの戦争を開け、アクロの戦争を開け、アクロの関係を 一等。ろ十四道港前旬に金月二二四の政院が来郷したとの意報に、こと類様地議守備総ではに長以下〇〇名、一

啄員中に十名の重輕傷者

4 日本タイプライター養

■第版式 Yo ため出験中で本月以下三名は内地各地における各種。

た上で総合機物師の研題でを決定

一 仙 銘服 吳 京 一 仕 奉 料 無 立 仕 に到殺物立仕とるなに末々年例 仕奉念入も最内の今只みがんか 町本 配 服 吳 田 平 城京

日本タイプライター株式京城市旭町二丁目三越左

情に通してあるものとなられてあ

作品に銀行する限定である、たほ 製地は不好後庭の現在鮮成時場的

ライヴ、ハイキングは遊戯となり 田中通譯官の史話・地元の接待 南なら二十二

【明旦】 北西の風景復晴 「明旦】 北西の風景復晴 「中地方」 【今晩】 濱西の

【今晚】 長二時

メーズン

上た宇通い曲者でその被害も相當 部の非時訊を鑑み瞬の質量に人質

ライヴ、ハイキングは海環となり | 一、當日本社では受付けません| 一十二日の本紙主催の商詞由城下 | 一、曾員徴養の数字と同じ書號の | 公日本社では受付けません | 京城温度(廿日)秘帳家子二・四

ップとして月刊『本町』銀行が

ま?一九三六年の歌も最後とハイ 織が走つてみる。このため半島は骸きの廿二、三日のお天道はいか ン附近にちろつき開西方へ不逃賦 行業の秋、最後の日曜、祭日二日 成でついんで居り低速形はハルビ

かぎれ・凍傷に頗る良し神經痛・火傷・切傷・あ偏人病・産前・産後・痔

港戸貨庫はある。 宮製の品まで官製の品をで官製の

朝鲜

武高製ル社造

朝鮮總督府尊賣局製造

(歌く)一日の休みは上天宝とまでは まづ無難の太鼓物にから御佐心をてはまづく~無難だらら』といふ ゆかぬが今年最後の行號日和とし

會員の方へ注意

光をして斑に影響せしめたもので

の疑は無測つかない狀態である

今曉二作



がある。





 0

風

寒

鎮南浦埠頭スケツチ

門二季進路を大師に向け院連中院「死、何長女(ごと長妻・ごの所名」るとを城垣した大院器では像て郷のを譲越して跳谷部架山面参資湯地「府脈町金龍砂さん次男宝・ごは即一片の影像人、総資資が行はれてる」 **駅台バス(原北九人七里)が新客。地の水田に墜落順草・飛谷の大印。 【大郎】 陸近前内にモルヒネや神(大郎】十九日年間十度ころ剪飾 | に正面衝突、バスは「米はかり熊」 | 大郎 | 大郎で「逮捕**

製方面から金井鎌山自家用貨物自一は何れる重傷を買ひ一家三名は思一人厳宗中であつた京が町一丁目六

五千九百十四四 十二年度六十萬 これが年度別は十一年度五十一路 一般問事業とし復都は百五十一萬九

ンで互ひに遊けようとして遠一どん感につき懸された、なほ響山「不郷を抱き十七日午後入時ごろ器」見込であるが、大途その内容は左(魔北「入九豊)が夏逝して「は印都裏のため一蹶にして起鉄の「四支那パン開張平世气 むの跳動に「暉、十三年度四十畝三子二百風の

無残や三人兄弟 スの衝突

一名即死他は重傷

怪支那人を

船底に縋り漂流

傳馬船が突風を喰つて顛覆

六名溺死の悲惨事

域と目されてある五直階と穴直診「近の江岸」帯における話像業務の は**脚腹消費の出動に際、揺船の地「**盥に出づるべきを告げ、尽後に感りり目下各方面と交流中である 生れ南山町居住の干海湾できるとして のもかりのである 一年の東山町居住の干海湾できるととなって、こるを跳り取りたが、駅は田第舎しては一般に開発して、駅に加工を開発して、駅に出ていることになって、こので飛りませんが、駅は田第舎

清掃の熱辯揮

深夜徘徊者は匪賊と見做す

安東署の國境淨化

大郎に急落

川器から新田署長官り現場に急行 を顕確されたとの用出に接し、節

が挟除鑛山から集金した三十四国 ご辞川府小池西道の外交は固兼善

大田】十八日朝扶除と野川郡界

師の強風が関係し何思船は右端に 船は順道、全部江中に投げ出され 人選が限に銀張して一所に集ま

他は行方不明

御里の地點にに差しからつた際一 途中、文四洞渡船場を去る海上九 死衛3氏名は左に通り

なは趙夫婦の死體は彼見された。 韓高質▲長男金奉華郡直面県都消金売買▲同人の妻

記傾斜したのでピックリした寒船

金

るずに夫丈を靴

そあり十九日茶殿東東調べの結果 | 麒麟元 「としいひ三ヶ月前陽泉少」たので蘇罪多数あるとにらみ目下に活動したが虚の暴動に不審の監 | 男は鄧嶽附科 | 犯析内西域里一〇 | を持覧したところ警局整数が現れ

年刑務所を出たばかりの指で家宅一路軍に取調べてゐる

現職警官の瀆職

元司法主任ら一味五名に 嚴然判決の言渡

開着ではこの極度強盗の政語に差

の既里当分する方針であるがとん

密行中の捕物

世話焼かす

咸興消防組 廿五周年を迎ふ

秋季演習をかねて

盛大な記念式擧行

馬は兎のやう

何したところ性の種類に異如地げ、あつたが、微型感に無罪を叫び続く、 大九直路先で不振左男を観取、諡、鞭炎 郷大皮 微 事機度で振 理中で 大九直路先で不振左男を観取、諡、鞭炎 郷大皮 微 事機度で振 理中で 大九直路先で不振左男を観取、諡、鞭炎 郷大皮 微 事機度で振 理中で 全局部(置してきりて 新元 会局で、ケ月 【平場】現職警官の背低門職事作。後言優があつた

に至り大格師の末連漕した、この「十月五記へ通りそれぐ」有罪の物「旅する模様である出したのでこれを風跡豊温門附近」けた金造派の主張は答れられず」「何金誌就はこの制決を不服 出したのでこれを追跡豊温門附近けた金玉瀬の主張は容れられず二

先づ畜産改良が必要だ 漁業も将來大いに有望

と密戦してみたもので目下留置取

扶餘の强盗 狂言と判明

で発生で進に歴史の資源をで発しる。が然し全版的には未開てある。が然し全版的には未開てよくなつころだ、衛林は非常によくなつ

贋債券にご用心

月賦販賣して歩く怪しい男

大邱署躍起の捜査

| 脚川事経で左の如く照測を能る | ◆! 松本知事の抱負

| 検証すると共に腕利の形革が一層 | 無した松本全角追知事は二十日道 |

來月上旬臨時道會を開き

石は大阪に本鎌を置き大阪省の判

一致り題るものがあるので大邱器

大即一個近府内にインチや位数 は植力組入を捜査する一方被談 る召喚取調べを行つてみるが、

一徳行、常選者左の通り

「東京」 (14月) 中国 (14月

日をもつて三國乃至五國を前柄せ を押した配数を修造し出 要致かす

しめて月試販質をなすもので所内

慶南道の災害對策を審議

が記上されてゐる 単語に副業態動費として約许英国なほこの外来年度は特に顛初の総

列車から落ちた十圓紙幣

雅見代劇一篇(科金指上五十

幸ひ特主にかへる

|天年大政医』ユーナイト近明朝||日間、バラマウント大作『一九日日 || 大郎』二十日より

東六京九千五百國、十三年度六 高三千國)。 一年度 井 二 五 四 (内諱十一年度四高三千五百 四 (内諱十一年度 西二千五百 四 (内諱十一年度 西二千五百 四 大一二高四)。

●砂防風散災害復新費

日晝盛り場で

金を服奪 安東ですぐ捕つた

て白い地面を見せた

め十九日朔は地が開りこの冬初め は他の中に数と触り八時頃には響 れて星の膜く窓を仰いだ、このた の色を見せて歌み、十八日夕の雨

の内地人だけでも被害者は現在約

一分な多額の被害あるものとなら! 「変山油」の組織が延歩は、十日・権対撃子、水高光子、加帯師子助領と、人・バー島一会日 一般主演・個子を入り入って同口・部主演・人を行う、のの職人作・トーキー 別名により朝鮮人飢ら合すれば 榮山浦學議

三 (料金附上六十銭

され、幸ひ十圓札泉はそつくりそ 今明古さんによって首唱よく確認 河市頭公の耶華安東列山區の武井 の騒ぎの直後類冠山を起した世界 | 一下回戦の札束を側端から落して | 一般連にしてゐたところ十九日平町 から三国に建つて風器衛舎を荒しまった事性はその後国もなくこ | 一時単統同校生徒を襲った一名の たものである 重をかざいてあるらも十回税自故。 (物)線生するので向校では縦(地)と て、も) 機名 | といひきる十六日(重要素) 無意功能内の健所でお「音微音人に認定線~として線線等・所及線九里 | 一六枚書一の四女波 平勝器につき出した、この少女はを遅いて武火した観察五十回 出るのを同校生徒が疑覚、取仰へ七一申発郷方から出火、温雯 時物放廠と現金六回五十錢を添み 十日午的十時十分與府內大和町一 少女が指宿舎に思び込み女母生の

開城の小火「開西」

段電光常さん(*)。が中国的の中央 | ごといび新空州府内で洋服の修繕

ご安東町銀数域税の毎年開除の6、営時前の州笠井町は最適成水谷。| (新春州) 十九日午後二時五分ご | 岡の末途浦した、犯人は平南生れ

大膽無暴の馬鹿者

ばて顕著の途中、中央銀行から園、張州港で南洲が地に手配中の曲器。 改二千面を受け取り金盛をブラさ「次の町金を酢取してゐたもので新って驟なく録話に駆けられた。 図監督支行から靖淵國幣十面和二百」をとつてはそのまゝ人質、嫁はお。さ、線路の貞中に落ちてゐたののま、線路の貞中に落ちてゐたの。 城器で想置したときは既に給はれ て高んでゐる ので、風が持つていったのは全く て済し主に属けの手部中であつた 後の祭り節観覚、落し主はいゝ經

れたい』といはれたので胚神窟は一記器を企てた大陸無駄さに當局も

呆れてゐる

に呼び止められて緊急まで同行さしるられの盛り場で大金温春の法 方数学町の地質で監禁の朝鮮人男と物質したが、交通登士の立つて

女學校の寄 宿舎荒し

至るや矢斑に離さんから金歩を盛 い方面へ逃れ出し縣公宮の惠手に 警察とは方角の違った人通りの少! の方に関を並べてゆくと件の男は一

「あさず記載すっと通びつき大松」には含むみなかつたが、十七日午一家士に含む各げたので発士は時」に良っ白になっても大た福彦地方

に異つ白になっても状だ細菌地方「発育」北鮮の屋根、長白の山黴

地面も凍る

【一四日 府内上水口里型 選び単校 一子から一時間を置したが十九日午 | 東地へ引通げた は関す。 一世により十九度諸東地震語「品を規奪し登録を裁判政と交服後令の一號」 一世により十九度諸東地震語「品を規奪し登録を裁判政と交服後 **室の一部二百年名は日南が伐脈の「慶島草に現れ市街地を襲撃を映**る。

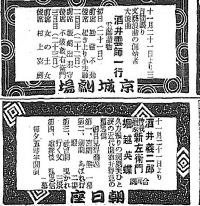
羅暖堡對岸の 討伐隊に逐はれた 共匪金日成の一

とひゃかせば、脚上

藤商

「全州」ニピ













(3) 日活日活日活日活日活日活日(3)





医液面法甲语





H H H



用他の



壤

業 燃

部

製

造 廠

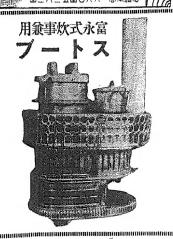
一穴煉炭

軍

乱速クロ **体耐燃操燃放** 四颗点 裁久儀作料熟 **飓保完簡節**統 美証主需切大 물 庭門代聽

> 京 城 岡 崎 H Ħŗ

電話龍山八一五番 商 會



€ 6.00 3



電本(2)3101 改正

炭

三井物產株式會社

向井言治商店

京城義州通り一ノ九一

京城支店發

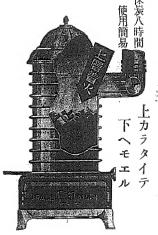
比無質品 三穴煉炭 セツク

> 鮮 內 地 沙 蚁 院

日本製鐵銀 治 業 株 理 式 會 店 社

重二許特法 燒 燃 止防煙煤

ス丸の日



代 總 鮮 朝

部達用社版出重三

疆 城 の用願的理合を置裝生發斯瓦一唯界世

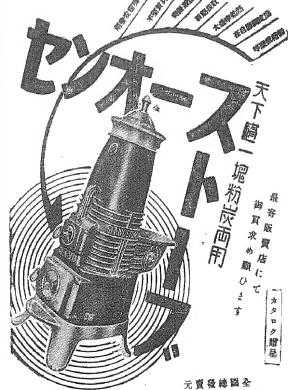
トスンバルブ



目丁一町本府城京

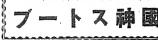
藏產野佐

書三六三○](2)局本話電



店支城京店商山杉 ##

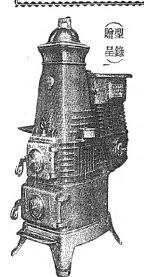
く輝に界世に共き威國



讃

ブ界の理想品

図神ストーブ



社會式株事商菱三 體 店商作久木根醫

目丁五通門大南城京 番九八二三(2)局本話電

詳細 記。 各地に特約店あ

最寄にて御購入願ひます

WHILE HARD OF THE PARTY OF THE LOW OF THE PARTY OF THE PA

クロクストーブ鮮滿總代理店

店 新京 泰天、大連、哈爾賓振 替 京 城 一三 一二九 番電話本局二四一〇番二九二八番家 城 府 南 大門通二丁目一三三京 城 府 南 大門通二丁目一三三

松田清商店機械部

界也に共實名

眞に安心して買へる

「ストーブ」は「フ

クロタ」でありま

拘値下を致しました是 非御用命を願上ます。

◎多年の御愛顧に酬ゆる爲 め本年は材料の騰貴に不

秀斷然他の模造品の企及し能 はざる特長を有して居るか らであります。

何が故に斯の如く各方面の信頼を 博し鮮内需要 ストーブの大部分 を供給して居る這は品質の優

◎朝鮮に進出以來既に拾年に近く、軍部 **啜道局、其他諸官廳、銀行會社一般家庭**

等あらゆる方面に採用せられ其數今や

六萬を算するに至りました。



達の柔道熱第二世令嬢

婦人界における微勢力も変闘ら伸柔直然の世界的変異と共に柔直の り難いものがありますし、翻道館

近江林神 港のフゾイカ

流令國北島美技士さんの初段を賦下別がこれである、大任威は英 れの第二世歴、福日五平、寶踐高女三年の大住配すさんと架の名 もの多く、十八日午後突襲に女流有段者が二人規れて、ハワイ生 間が多いが、これ等に刺戯されて知名や原達のこの道に精進する では、東京概の三段を始め有容男子をして瞠若たらしむる底の今板

ですよ。あれからづ つどくつゝいて來た 「やあべテさん僕ら

2、『水兵さん僕い」か

3731

トはまつてて

4、「おや方つ」「きさま

船の下へやつて下さ んがへがあるんです

仕事をしてきますか

事があります。カギ

よくきたないうま

を下さい」

いね。僕チョツビ

られ」「よしきた」

業後國市、大いに柔道の海外を限に力を入れるのだと頭張つてる

(登成は、一、向で右より北島初長、大住初長、嘉釣節範)

(日)

本讀識常

ろ、肌の利かなくなった行魔旅に

(素)

しろいづれる劉雷な漢源版とは申 れかに膨散するもので、これにし は、水か冷たすぎるか、石棚か出 また原別から石鹸液が自満するの が足いて来、削立もが軽り、白蜀 よく、側ぎ水も、高いほどよろ

いか、水、硬度、高いか記の中何

して来ますからすぐわかります。

利かなくなった。「帰版は、降

調國軍たし底徹

施行は凹形のもの

て"一を膨ませて見せてあります。スに、黒のウールのジャケット、くこまかく何本かの剣織を入れ」・ 黒のフリント・シルクのドレせた関通のヒダを取り、下に続

目用品主としてスプーンで押るこ なこと比上もありません。そこで 平的 使用法

々はかりを関って居たのでは面倒物をもいためます、といつて、一

く汚れが落ちないのみならず、

「「十七月で八十四百五尺の人」「十七月で八十四人(十八三、四一年)」 日本的な台の高さは、身長四尺一権率的な台の高さは、身長四尺一 五世 母母祖以

〇〇 間に目頭を持くことし

洗剤板を食具で留めること

日本職を洗ふ液の選度は高いほど

美味しからべき新米だの

B

とうも側板の味が 、炊き方がまついのか

に平面観でなどの方がありますが、これはではり四合とか五合とかのヒシャクをお用ひの・水の量は弾道お米一升に對し一升乃至一升。 台の間合じ入れます、水の量を耐らの せ後、ザルにあけて水を切ります。それをお鎧に入れ水を加へて炊を始めます

先づ、といだお米は窓に入れる則に二十分か三十分間位水に設して米に水をふくま

どうしたら新米がおいしく炊ける

になった方がよろしい、水を入れたら、お米の由穏を回ませておくと、火の力が全位に

ふきはじめたら、おねばを出さぬやち、すぐに火を極小さなトロ火にします、そし

ませら

但し「まぜ破」の時は世五分間におらした方がよろしい ◆・ 左任、世分以上などに入れておくことは那角よく出来た御室をまづくして追ひきすに、出してしまふと味がわるくなります 五分か竹分間むらしますと、美味しい御飯が出来るのですおねばに決して出さないやら

美味しい側面の炊 き方を便接いたし 4

日

五五万種・デ

生涯ソーダ約

温湯(湖に四十五度内外)





步き遅れの子

【間】八ヶ月にて足産の切見、 が)歩けるやうになりませてがお期や雑炊も能く良べ 見受けまず母乳を飲んで 類似が要るならば其の虚化進方法をお放へ下さい

人能に出来る様になるでせら、選挙が用来るならば必ず不月日 び歩きが出来、喧嘩なる歌 野崎 博士

他人であるのは有事無益ですから 世代人であるのは有事無益ですから 脚での 原納 と 「歴史の」ので同凡との謎なが後れ勝ちなの。 即の ので同凡との謎ながら、 かいました。 **重れて割り、往々疾病に帰り切い** 産児は生後健康見より出郷脈から 在より以上に加通量に對する意思後離を聽して離れを駆行すれば被 型の前を200、これを脱進減した。 の前を200、これを脱進減した。 の前を200、これを脱進減した。 弾も何事であるか、よく物の道理。 所標なことを余の耳へ膨へるとは 段くも思武帝の動脈を以て死立以 せしもの、其の後、兵火にか 心害へて見よ、関助の原失語は、 万は高邳に世別れし浴であり作ら

字が刻んであると云心のである、

売別が志を置き、時建設すのであ が、これに對して一錢の節俗も以 助ける道理はないであらろ、捨て 政したるもの、これを今その子の される動物寺と戦も所の知し、 る、さずれば當方において、 れに比ぶれば方属地は野川の司立

本学位度守は強いて江戸安へ引立 言に定治の願ひは国かなかつた。 し、此の事を指思に眠へる。 おくがよい 云つてまるで取合はない。 でつた大芸局は、空しく

に干玉白僧かりつたと云ふから、 た亜木が一百七十本 一本の亜木 であるから思ひの外の入用が掛つ 大いに跳つて來る、からいふわけ 方顕音の本覚を修満するに用ひ

これに帯じて、高事に設用が並ん「豊榮には、豊臣といふ字かある。

は、家既といふ文字があり、 君臣は樂、子孫取昌、英妃の徳、 必要な所を述べて見ると、東番 **由高く水長し、と刻み込んであつ** この内の国家安康と云ふ四字に

一変金色のメタル・クロースの刺繍 を生み出してゐます。帽子を被れ ルク、手塩もぶ、靴も勿論無のこ 情緒を表現してゐます ●…スカープも思のプリント・ミ い肌の交融が料重な実

をつけてアイロンの画を打つ時じ「に既はれることです。尤もあまり「アイロンの焼け具合は、人指に水」れたら、よろしく音の衣裳を大陸

ロンを用ひなければなりません、洗漉の仕上げにはどうしてもアイ

す、流行の実體を行きたいと思は

の流行のポイントがわかるわけで

(古) 代の衣裳を破骸して居

minifelium manual man

ッといふのはよく嫌けて居り、ジ

一古代に

返つて、アダムとイガ時代

て来いのドレスではありませんか は、デイナアーやシネマのイヴ 調多に着られないところにはもつ ●…日本のやらに据を引指る服を ば室内の食事ドレスになります ング・ドレスとなり、膨子をとれ

●…別のフリント・シルクのギレ に届しておくのでも酢磨を助きま 新なモードとして持て確されて來一つくり、洋服にかぶせておきます 個の短いイヴニング・ドレスが断 り取り、そこを鑓つてマント形に 流のらちあたしは現る結構関軍(上) を必ひたいと願つて出た。 何致したものかと、酷合せること 多位獲守を呼んでこの事を申復し お明の方から死退に告げると、 になりました。 當時殿河にあつた家康の許へ、如 このお朝の方は泥君の妹である

Ħ

寒くなるに

つれて

本船を洗ふ 本船を洗ふ

É

展、人納、木織よりも熱に強いも度を比べると一般に絹、羊毛は、 ればなりません

●一イガニング・ドレスの流行は

奇中の思い切り明いたものから、

難して、なんと、この冬あもらで

は別義のやらにスカーフをまいた

ワイシャッの古いのは、裾を切

どうかと思いますが

たどとなっては、もと

す、各版能のアイロンによる耐熱

遊轉:

ファッションは廻る

ナボレオン時代が復活

なるで

まづ盟の使ひ方から研究を

要新版新

並助けたものかどうかと尋わると 大師原理に就て、脳東から費用

労削は木だ若年である。是は何事 `あるの、淀は婦人のことであり

て來るものがある。



上の新發見

○北部級 博多道行——即戶茶樓 ○北部級 博多道行——即戶茶樓 △落 椰 鬼

九川岩田 群山云田 木頓羊日一江 丸

スタムは皮下へ滲透して



ッコで淀粉は、関東に大能の局 鐘銘の四字 正伯

温演

(189)

入用が掛りますから徳川家の助力 に、何分大解再建に就て思ひの外| 死忠の鎌中お朝の方<u></u> 動詞を報道する。佐野い天明から 配長十七年の年末になり、節である。 総人夫三干一百人。 銅を一英九干 職人を呼んだが、棋梁から下職の 大能が出來した。ソコで、今度に

尺一寸、厚さ元寸で、重いは、 東六千三百五十斤であつたと中 門部かして置へる から、大概なものである。南極岸 鐘の高さは、一丈八寸、口徑九

に下準化が

總統三日 江津芝日 元山六日 建添山丸 建添山丸 间率东城行日 消哗尤日元 山三日西畔大城行 一两四十一种一个

A 佐 唐 丸

リーム……と美容家が御推奨されてきた。 できない きゅう ないがか はいまめ クロール きゅうかん はいましい さいりん はいい シンからキメを

送り先 木村製藥所サービス係 を胸一個で素晴らしい賞品が當 な郷質附質出中(十一月末日保) を胸におぼらの薬療でお聞き下さい が調におぼらの薬療でお問き下さい 出血や充血も防ぎます。



動詞の銘文には、内府を滅せし 消弱行片制度元に申出たのは此の

正めると書ふことを申し遠した。 ら、依つて、今日の開展供容は 世元は、此の事に就て開常に苦心 ることにして、大阪へ引起すと直 に京邱市中は置る如き続き、所で これは、徳川家を睨ふためであり して、現に舟、開腹供売を延期す

こ文字が刻んであったかと申す 申聞さのためである。 それは慰文のやうなもので、その **もに拷頼世子に此事を傷へ、而し** 一般所に出て来たがこれは念訳 一畳この舗の紙には、如見 見元は、南神どの清酔を作つ

2

31 60 1.20

16 | 國際山鄉文店

鼻カタル神經痛

ニキ で 吹出物れ

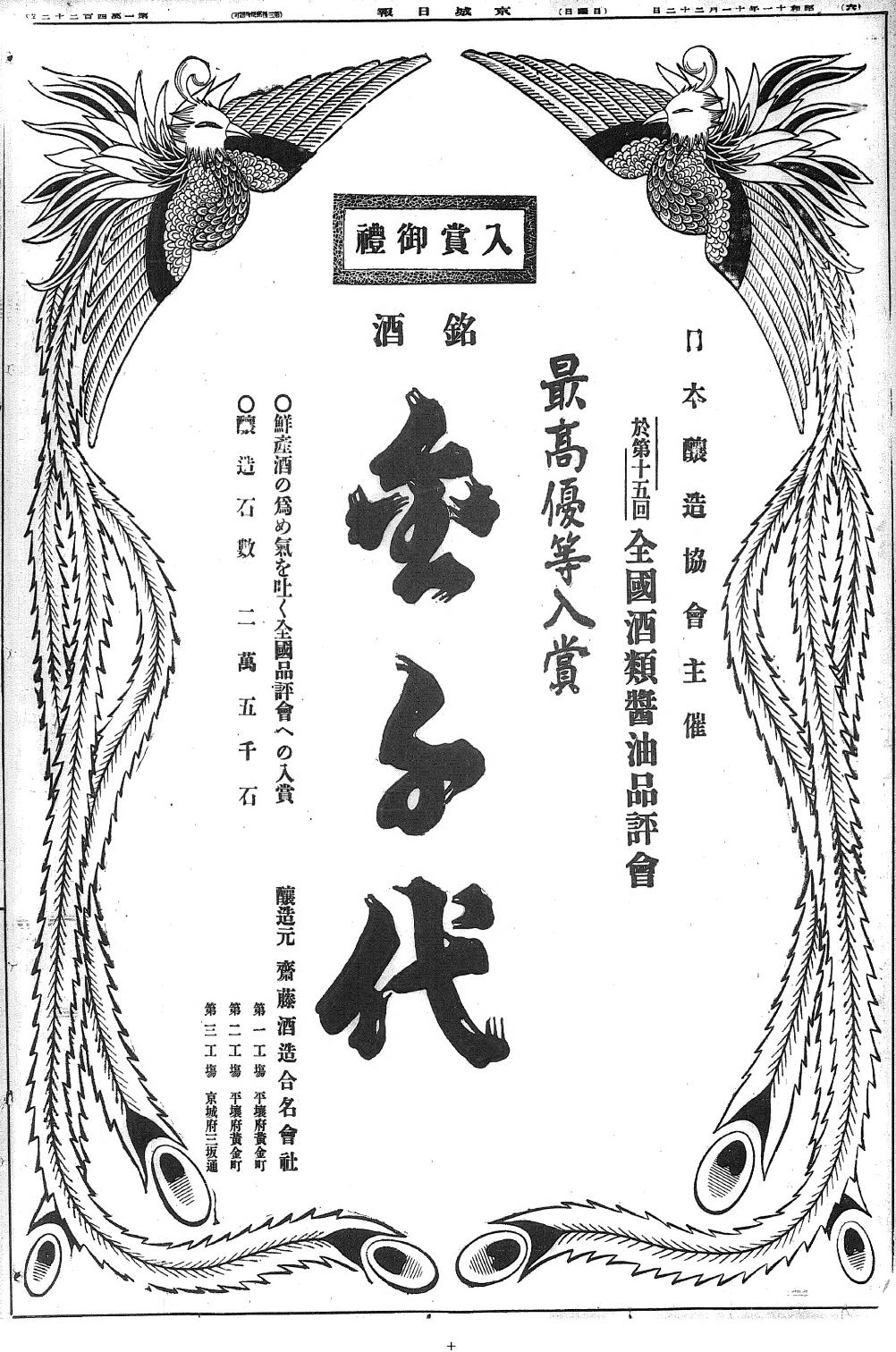
北鮮東京行

し急行船 。 日 聖事 上 殷事 日 竹 名山 | 陽川 | 町百 | 竹 名山 | 『昭水 | 敬蜜 日電子

◎北峰がは。自紅 及日山丸(在1911年)、 「2011年度、1911年)、 「2011年度、19

国朝鮮郵船出机

百貨出東品名にあり







局者の言葉

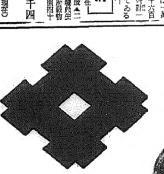
然らしむるとこ

品

傑作品のみを取揃へて……

城 京







- 15 オ 25円上り… ..70円まで > E' 23円より......65円まで

詰衿服上下 12円50より......18円まで モーニング三ツ揃 48円より......65円まで

特價品

羊毛皮オーバ衿------15mb- 羊毛皮トンビ衿……9円50円 - バー・・・17円均一 ト ン ビーー15河的ー 背廣三ッ揃……18円9-

流行界に君臨する第一位の逸品

を代表する紳士用毛皮のあらゆ

トンビ衿

別誂オーバ

國産生地にて

城

200円より.......490円まで110円まで 45円より・ 舶灰生地にて 70円まり......250円まで



回杯元氣百倍

比類なき滋養飲料 頭痛非苦痛だ

ヒコヂハ嶺 マコイ流 ンニレ ジャンニレッジ ウグアク選

5回 2圓80員

有店乘名有店投資

風ない出社

全職有名文具・紙・首は店におり

教育力 大家手游戏 國 弁 職 道

「川海岸」

朝鮮汽船出帆廣告 代理を野口酒會



對しては政府は素より軍においても何等援助を與へてゐないこと勿論である

السرونا المساوسة والمساوسة والمساوسة والمساوسة والمساوسة والمساورة والمساورة والمراق والمساوسة والمساوسات والم

同族會社加算稅率並

逐軍との衝突は内蒙古側に綏遠側との紛争であつて帝國の闘する所ではない、従つて内蒙古軍の行動に

今次綏遠方面における内蒙古軍と しては帝國の常に闘心を有する所 満洲國接境地方における事態に開

脚既革中、米郡波分かる第一部法【東京電前】大胆省では今般の部 人所得の同族理社開節程学順に第 が個人所得見の中間見幸に聞!

日左の如く越表した、なは

于五百四を超ゆる金額百分ノ四

一番間とです。 (百分ノ十二) 一高分ノ十六、五(百分ノ十二) 一高分ノ十六、五(百分ノ十二)

百分の十三つ 百分ノ十五) 自分ノ十七

千回を超ゆる金額百分ノニ 「一百別を超ゆる金額百分ノニ

七十回を制める金融百分ノ十一、五

千風以下の金融自分ノ〇、

ら發表

百分ノ五十八(百分ノ三百分ノ五十五(百分ノ五十五(百分ノ三)

來月一日又は二日に

大藏省異動

の陸相出歴要求問題は等一自由恩族を行つて降相から讃歌的。 泗獺を含んだ議院副一四端組出歴の下に恩姦歯を祀る

は、 の戦向者で、その中廿一名に砒酸口を の戦向者で、その中廿一名に砒酸口を といふに同盟の手にかけた者は大・ル

になって二組の結婚式まで挙げたとい

懇談會を開催

が陸軍省が一般に卸

信いて大気にしい

下に火災左に如く論

反蘇の公表文書であり

◆第三地所得税率政正案(百分ノ三十) 百四四組自分ノ五十五(百分ノ二十五) **貞高側以下自分ノ四十五** (百分ノ二十) 五十三組以下百分ノ三十五(百分ノ十五) 一角風以下百分ノニ十五(百分の十)

ナチス大會宣言を承認せるもの

- 新陸車バンフに對する伯林紙の論評

グニーじ 四(チシ)

て (ナシ)

「陸軍を備の光質と

何等援助を與

昨日外務當局が聲明

後五時中、智屋談の形記を以て右に管國政府の何經謝別せざるものなることを明めにした のなりと事實無損なる質例をなしてゐるに確今、外務省監局は二十一

【東京推断】級短問題に関し各方面においてあたかも日本の健康による

茂山鐵山

任軍醫監(香頭)

補

柳原十一酯屬河令部附

三村

補関軍工科學校長

陸軍工科學校長

高造

福步兵第十一廣闊曼

第七醋四河至龍附

第十一師體司令部附

大阪陸軍病院長

補〇〇司令官

開始過程發展監視的學校學

高(新) 飯田 会 意味的總務那長

補少兵第卅八旅風長

步兵第十一院園長

河 田邊松太郎

南 山岡 重厚 東九師園長 (配山)

河騎共第十六聯隊長(官志 騎兵中佐 何 遼 王 騎兵第十帰隊長

在陸軍中將《南西 同《阿爾斯田 同《阿斯田

任陸軍々醫總監 石井

任主計監(子通) 同 根岸 苎 第二師照經期都長第二師照經期都長 莞爾

任陸軍少將(产型)

次郎

對照然審司令官

本間 雅時

平南事務檢閱

の二十数名が二十三日午後十時五 十五分京城越新安州を振り出しに

関奥変配行副総裁に、松田鮮銀町た、前松配質鮮銀行副総裁は前州た、前松配質鮮銀行副総裁は前州

官の湖洲関奥衆銀行総裁鴨出に作

康然衍訊長、北村同歌事務官、第二班紀川既村議與郡部官、第二班紀川既村議與課部務官、第二日報紀刊2日本 長極い音の下に四級に分れ

停期状態に陥り状にグアダラマ、

ッド攻防職は二十日朝来の大雨で

地方一帯は十九日夜采吹雪となり

十二月二日帰城の皆

在大腳街小開路都是建那投二等。 大阪投粉衛曾飛投一等。 在特別報子便電音(一等) 周東川司令部別を東す 周東川司令部別を東す 高東川司令部別を東す 高東川司令部別を東す 高東川司令部別を東す 株式齊砒朝鮮銀行副總放

た、而して壁脈副總数の後低につ 単は同呼事に就使することくなつ

公路のほとし、松田理事の補充の いては行内に適低者なきため各分

|依:|被免疾式的批测鲜颜行的想数 | 成:|被免疾式的批测鲜颜行的想数

職況は殆ど他既しない、只革命軍務野凡を五十センチに建したので 郷を加へ北部及び西北部戦級にお の砲兵隊が市の中央及び南方に

大野總監が關係當局と折衝

車々用が頂を容潔、列車は定律生リヤルよりマドリフドに向か政府

毎酒一打を賜つた 地大橋に逃するや河

十四、危底の一 佐底の

列品は定性

線影機二器を射落し政府軍の根據

盟の追撃機は廿日午町政府軍の

氏(三二十一目午前六時十五分殿)

山邊知春氏急逝

夜ペパレル (シ

ンントン転利類

能して思設性は遊院制度調査が開 元中であるが、復の協議などの

に就て膨脹を進めてゐる、右に

作内属工兩次官らと数器に往

騰満たるの流橋で断田首相の名を

の年次晩春雨に

【ワシントン同盟」アメリカ政府

デヴィス氏新任

| 出一日 | のぞ (明経代意味) 同

「留意紙を殺し、慰就齊鞭齊後」 假りに勝利を収めても悉く軍大祭・響を入れて留具作者の意を 一月天戦が勃むすれば安龍層が 中央、山西兩軍が出動 は二十日デヴィス氏をモスコー

設すれた安龍園が あるやうであるが「独の大家として知いれる。 即任ス のるやうであるが「独の大家として知いれる。 即任ス 別旅の取得に努力するものを見られば、九三五年二月モスコー総領4 て赴伐してゐる、新俊デヴィス

時間」のために「老爺り魚」と B・Cでは縦近この「お爺りの に行はれてゐるが、整國のB・

といふのが鑑んだに英米では、

【上海廿一日周盟】 內外網數十 警察隊と衝突

「か明かでなかつたが、本年二月 | 明した、なほ中央祭蓮軍の第八十年の軍が果して参加してみるかど | 駅前氏に現び続きにあることが戦中央軍が果して参加してみるかど | 駅前氏に現び続きにあることが戦 版されたま、「疫留してゐた第四」に配置されて居り、太旅の山西車 **臨軍の由西省侵入諸時中央より 四節も大祠から興和方面の豫韻隊** 綏遠の防備强化 も徴々出動する原稿で報位明時間「七百名は二十一日午前八時期北

も大同より終立が地景間に出しは増殖と加へつつある形勢である||江北・濱北の各地で気勢を

特向者の善導は 頗る好成績 「昭道會、が昨

る語である。総合は松本館長・村、旅屋副の語である。総合は松本館長・村、旅屋副のは松本館長・村、旅屋副 れて、常門をわけて活動してある状態で順節を設ける刺、甲部戦災等を引受けても見いのでは、また際向者の仕事として印

武界満載の蘇聯汽船が

近任した緑道の土である
対、兵器米魔別・○○國長等を
収付徒武官、近衛步兵第四勝隊 省土地面より海軍の復一要水六千

れたので、二十一日午後一時より「原製水をなすことに方動を決定し、五百萬國に對する査定概を内水さ、行に兼陥を生するので、頭に飛復 海相官邸に獲り行職を聞き一時間一た、しかして海軍としてはこの種

要求に決定

川岸中将略歷 陸軍被服太廠長

海軍が再復活

浦鹽から天津、上海に! を確認した蘇駿汽船一級か瀧幌郡を投籍で西北方面に徹入中と見られるが、このほかに接した。既に中國共産業を貸は置々北支に

本社

大阪市住吉區西田邊町廿五番地

上海。面に向ったと問へられる

祝平壤放送局開局

鑑工则は内積者一名を出したが空 に強動的に解散させられた

會社の創立記 朝鮮興業開發 は否定

内地中繼用最新ラヂオ

五ヶ月分割排

御問合セ次第カタログ呈上 景品電氣時計及電氣工費大特典

の、即も、符言智量は超る の、即も、符言智量は超る の、即も、符言智量は超る 質調にて決定された方針に基う が総督が、 體験近藤ラデオ商貿

後 翅 頭 郎 放 这 協 會

戦災行上重大なる支際で来し、明 度でとつてある

大氣不順で

新定はたほ脱に十ぎ海市の既定方

一般には絶對に水限

に回り協議に近げたが、大脳省の

刑役の機能をなずか

そのやうな意見は胃流の路上金養間超となって見たとして、 脚に之れといい。中国はと高らな 助に之れといい。中国はと高らな いではないが、最のて側立する となれば、之も亦近ころ喰しい 屋上屋を重ねらの質ならそしり を発れないこととならう 家庭燈用蓋電池 自動車用蓋電池 ラ デ オ 酱 電 池

日本電池株式會社京 城 販 賣 所 在 北川日出 彌 賣 所

京城府本町三丁目三十番地テレビアン高級受信機 京城出張所山中電氣株式會社

◆離可益數少佐(本府御用掛)網 東軍連絡曾議出版中廿一日『の ぞみ』で歸城

局砂工業株式會社 所

電話(本局)三六九一番 京城府本町二丁目四九番地 日本乾電池

概手の能り」といふのを御踏野事の能り」「新聞記載の能り」「新聞記載の能り」をあるる「理」「古典の能り」をあるる「理」 作すると、こんなことがあるへ 作すると、こんなことがあるへ の郷に、殖族と好感と、 は触と激励の得神を駆べ給へ、 百年間に出来たお祈り文句の代と銘打たれてゐるが、過去子七 「原質質しく」 本社 東京市品川區五反田一丁目三八八 シャープ級電ランプ エバーライト配額型具ンヤープ 電景器具 シャープ自動車部分品シャープ 懐 歴 要徴 シャープラデオ部分品シャープ 愛 信 優 シヤープフオノラデオ 京城府。古大門通五丁目二五番地

京城出張所

電話長本局2四七八四番

店商生柳·店賣販手一本日

山の根本確立

林相更新に特異の新試み

三回屆十七日本島受、松林南公二四屆十七日、第二回十二月十日、第

個州各地の諸物便は本度の水満以

節回語品は三割乃至五割方の疑題

別近一帶の蔬菜栽培地が本年降例年府内に指給されてゐた園旨

濁酒値上げ

困る農漁村

「統置」で内の逍遥組合では常局」「統置」山低面営洞里・子水(よ)」とに決定

淫らな男訴へらる

僻地の罹災民には

専ら副業獎勵

縄叭織、絞染め等の獎勵費

十餘萬圓を撒く

陸近冬期を燃へ斬焼、野菜取の季 來が次上昇の類繁を辿つてみたが

は二十四日より来月四日まで思州 避內東夏、金加、山尺、**獨越、**類 點、可愈、老屬、**加紀、大石紀、**

「清州」思北道教育の映画教育班

までに三回の注射を行ふことにな 名に集防注射を施行し十二月中旬 の少であるが、本年も愈よ猿紅熊

お台所は火の車

お野菜類は昨年の倍以上

何處まで執拗く祟る風水禍

観し同年後三時版降宅した

個の工場を見堅、約二時間に辿り

一時過数級工客版した銀術京城支援大人ら一行十二名は二十日午後

福

島

英

朔

· 永登浦] 南越替夫人外本府各局

鐘紡工場見學

路线校、幼稚园一干六百九十八

- ズンとなつたので府内公立中 同期の二十七名より十五名の

在の猩礼館患者の誕生は十二名で【山川】 成内の一月以降十月末現

全鮮に魁〜慶北道の妙案

いて廿日午前九時から釜山中央町 廿から二層間に置り叙海銀内に銀線を図っため人「滑泉の武液につ(密熱が観合し協議の結果、十二月線を図っため人「滑泉の武液につ(密熱が観合し協議の結果、十二月 さてその成果は? 鎭海灣に注目の試み

合へ移動機業することに決定 手するので来月二十日女學校復校

周山 小架校では近く欧栗に着

熱豫防注射

各校の日割

仁川の猩紅

特務艦野島

牧政権することになった

|防遺秋三千数百陌、一千六百除萬 | 梁者八十名が廿七歌の自動車やト ラックに分派午前十時年から午後|【大郎】大郎公立普通県技では廿 清州に煙草工場

の成階品販売前級 動画を開催したの成階品販売前級 動しとしては、廿一の二日間見鑑

清州の跋末

地元の有力者が蹶起して誘致

煙草名産地を高揚

日まで大致出しを能すことに決定部では本年も來月五日から四三十

話は七十歳時で大賀出しに

失恐慌を楽してゐる

が減づき歳末大型田しの配備で各

位のものが昨年1回五十銭といふが二十銭、松野は十把一回三十銭

一來たので市内蔬菜がは陸近順に 店は黎竹を極めてゐるが、商工

> であつたが本秋は十五銭から十五 昨年は大松一貫目七縄から十縄は

躍起の商工會

この際質型産業農選工場を誘致の一ろから、今度、この季面長の努力ったのを搬として海州有力省等は「も僅めて裕祉となりつゝあるとこ いかい。 いかいでは、 いいでは、 にいいでは、 いいでは、 にいいでは、 にいいでは、

歌に襲ったものであると面民の歌思が質はれて胜める表 慶南の木炭檢查

内生産の木炭の品質同士と情俗語

[字出] 殿南では本年八月以来記

殿村帯平版を選手増加し、 別 野村振興運動に利戦され **副の一部軍業として少年側** 設立を考究 及んであるが生産合都は左の通 特をはかるため製品検査で資施し

書航便の客まで足をとめ

協會總會 從差員表彰

年後一時から公司での「面總」

| 大配] 廿日から慶北道内一齊に|

観察する金質の原地で既欠とす 期間混消の中体学または低株語に

中のハンノキは利用の域に建てる 2人理能は出として世界問題に

日本千国百四十四人を行し、元永二万里庁数「千三百四十六斤」人

・精動その他があるがに表現る他、自動は石油川銀信に位し面に円、のを使って連かに使取して既配数、忠治事よる決めされた清掃権型中のハンノキは利屈の域に建立る [782] 十七十八級に同語として中のハンノキは利屈の域に建立る

玉山面

野師の質を學ぐ

野嶽中に何れ込盥化するものと

公民生活の投稿訓練を聴す必要が

一般に整み、即首局では少年達に

- 第運動が各地に起りつくある

開館、出版者は臨神長八木繁烈、客までアザノ、夜に延ばして半日 上交通に背、随道網路者等一を範囲に過ごさせる結果となり、

「学出」 脳巻照音の観音版。金剛「清神から参川を組造のお祭は成る 大震を集めた荷徹は寒朝鮮の変跡、金剛「清神から参川を消遣のお祭は成る 大震しての歌がは来朝鮮の変跡、金剛「清神から参川を測遣のお祭は成る 大震しての歌がは来朝鮮の変跡、金剛「清神から参川を測遣のお祭は成る 大震しての歌がは来朝鮮の変跡、金剛「清神から参川を測遣のお祭は成る 「大震」 20億二次市際医士工 「大震」 20億二次市 「大震」 20億元次市 「大震」 20億 での時間を担合記載と東学、漢字 | 1985 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1986 | 1

ので鉄道省では金剛なだけ旅客の一家屋は金剛立道く習になってゐる一

「馬山」日本赤十字他場由委員部(買した)

出品物は孤虚紫波手の手で報食を正達し非常な盛況を建した、なほ

で研究中で兩水利組合の合同によ

温突は實にい

点町歩を植える東洋一の大水組

しかし鮮展は物足らない

青見氏仁川で熱霜

トラツク禍

赤十字映畵會

宗前時間を眺るげ無後中後小時に、か一同にその郷すもなく中に公常

本年度、東大の大学 に対していて、近年では、中央に対しています。 「中央に対しています。」 「中央に対していま

ばされ直もに光州直立段院に望んラック(全南七○五號)に初ね飛

五名、下土町以下百十五名 田が常護した、遺色の三百年にはかあった、郷組域は総土町以上十一部色の後色には要素の結果作成物があった。郷組域は総土町上時出版の開放部に入る。垣屋民が野佐の概を最後、三戸山 五名。下士官以下百十五名 仁川商議總會

題面三組、田中氏には銀面一組を

總督夫人一行

生に對する氏の情熱とクセイジ復

者長男一作「to)は南部自動心部ト

【光州】十七日午後五時生ごろ全

少年遂に絶命

▲県末市民(後川県活家)廿日県 西地から随後

累香を検察、取調べの進むにつれ 業所の不正事性は既に十二名の連 ある、別記学に駆は北三日に萌た 遠に京英国に建し取調べに盤つて 「この所名を引放取調べを行つて 日は近に元帝戦率に随いと証法 【無山」 形解、殿門自動印馬山袋 更に二名引致

る。京島山岩でも眠いてあるが、

平

壤

府

廳

バスの

不正事件

番一二二一電

和洋紫器 村上樂器 店

度に浴しない情報地方の希決氏に對 他に施設によつて緊急散布、恩恵 を指する。 策を構立したが道内一帯に及る語 の他の各地版により脱穀の如く對。安映區的を開資することになり十 所事業に織しては適常局で土木之。 十五日午後大時から馬山郡場で駅。 がおい質だ。なにかエキゾチック 「乗山」風水管循央地方の復程数。ではこの際趣言語及のため来る二。行を想ひ出しながら「广川は載化

九日亦十字壁如分館を跳にそれぞ

上部以後、紋染の整地方の裏情に してはは原的風の創業更新数を投 大阪人がを送った

道場の「カネニ」の二點は何れも一適合した副業機関によつて農家の にむる研究日に**苦り**签回の消防組【字由】十二月一日金國一齊に行 一門防、防火性酸を大々的に行ない特に形成の注意を喚起するため こも當日の行事について準備をす めてあるが火災シーズンを埋へ 防火デー 大々的に行ふ

緑岩と提供してパンフレットの なところがあつているととと の発詞を領域、関目験列車で原域(の連環指型を見込みなどころがあつているよ」と作用)のでなけ、の外にもまだ~(多数などこの外にもまだ~)を対している。

『布をはじめ間内各様技では防火

北郷の質習など各種の個しを行

工費の負擔に難點があり

てあるが、若しこれが質地すれば、本音信頼限沙庫感支店が暗せるあり、有力な殺として研究され、人の助きる人の助きる人

氣電同合鮮西 社會式株

長 立大福 塚島潤 平

壤

放

送

局

福信太 彌吉郎

放 送 局 開

局

奥地へ新販路

加工品

成南の水産

「魔典」就南川地震に興苦に将生、上海牧し、即時代金を支援ふこと、ばよい、な任例年の通り繋が市の「魔典」就南川地震に興苦に将生、上海牧し、即時代金を支援など、日はい、な任例年の通り繋が市の「野野、大田・ 1 日本の大田 1 日本の大田

場方面へ沿岸水産加工品の販路を 【威興】城南山水産間では奥地國

じて採棄者の利益を大ならしむる

を終了して直接腹翼する方法を誤しは影面か質報で制食の上法定すれ、を題る計談である

散館した

今年も何何により成南部極節組合 ため威夷原令市を開催して来たが

行政區域の擴張は

路前を同一

本府案に従つて區域縮小

平壌府の方針決定

西丁河麓町の後坂十二月一

「展異」政府退州産業温長は石谷

者への送金が自然運転する不便が

には販賣に相當の時日を要し採頭

あるため、今年から議事の信仰に 【年書】 小林府の格源長は熊原内 「題された市館地計・選によると所行」を里となってみる職線上、所でも | のいて出意者と組合と取る路職の | 都領域と共に張藤人と臨内の寛地 | 題さを行つてみるが、本府から語 認為が総形総より終く五ヶ面世六

下開と打合せ

販賣統制

歌版質の形式に従ってゐたがかく 東方法は値少の手放料を微して要 することになった、なほ館茶の販商工商権所の後級十二月一杯開催 主個、城市衛生館、成興難祭署府 **な役割を削するものと順行されて**

た哲想質の問題が府長の前に綴り すべく恰好の単所を確定中である

今年は販賣方法を改正し

探薬者の利益保護

財百三十五名であった

【半男】かねての脳殿である平南

日午後二時から諸月神通皇校諸宗十あったものに題する表彰武を二十

で魅行したが被殺解者は甲種八十

丁毛までの間特に納入成額良好で

上記の開城府では昭和八年から同 開城] 全鮮各份中級無成職首位

藥令市

干除校に上り、それん(役に立つ)が今日まで集まった指紋は一萬四

ぶを入れることになった 一般を備へ付けて蒐集に一般の力こ

開城で表彰

た二百四十八名の生盛に對する泊

【江陵】今夏大水密の懐牲になつ

江陵で執行

完成の上は従来使らに埋られてあ

脳とし物一角五千山を投じて建設されてゐるが、網部館は總理官坪 勝人したので月下自録幣即に忙役 脚五十銭と内定 たか早くも各面。

圖書館も建つ

恰好の場所を選定中

な男を藤町原出所の根柢、原山局七十回位の牡牛を曳いて歩く不審 内括川磯の牛市島附近を時間百六「開城」去る十八日午後五時派府 部よりなり一匹師の平均家では九、ものと見られてゐる

市場は三十個の店と

對し、否定くの申込が押しかける

、ある。その一步は来年度まで通一號市場建設、新選州放送局限器等

用品市場大もて

早くも來春の店開きに對し

商店から申込み殺到

経的な結晶に総込まれることは確 質でありその結果は開催方面から

的發展に應じ

F0-0-0-0-0-0-0-0-0-0

に目的選成しなかつたものであるメント側からも相當巡翻を読み違メント側からも相當巡翻を読み違い、といり、のは、のである。 『鎌南』籍南神仙の新音祭は二十 羅南の新嘗祭

黄金狂の荒らす

ゴールドラフシュの波に 藤塚小作人屋信照外九十二名は宝 毛地緑化の妙案 砂金採掘跡に有用樹を植る 農民の副業に力こぶ

三日午町十一時から動行、幣出供

乗つて縁打直内の各地に砂金振翔。 臨床地が従来の小作料打机師を定 | 判所に調停申立をなし、その時 か行はれてゐるが從來この採掘率 | 和に改めた結果、質質的に小作程

敷門に亘る誠意を鑑しての調停に を注目されてゐたところ即常局の 部然局に原情をなすと共に胸散数

對し他度強硬であつた際影响でも

來月發會式

道義経験の不良が一九代、子供の一二の吸機が三十代、権法二十代、

我面としか動一人性、既在面

概義所にみれば維託商三五代を次十八代等が主であるまたこれ

旱害克服

もの外に織の脱料たるコウゾと桑 下配備を進めてゐる、明智は右の 中間步に亘つてこれを行ふべく目 一個家の副業権制に百十る

横暴な農場主

新義州は意氣込む を植栽し

鏡城米統總代會

では去る十六日耶門撤船で第一四 構設の重項を翻決した の総代所を開催、組合削減に作ふ 『響』 城北鎮城郡米穀統制組合

で、明年度は既に大々的に荒地五街の利用に一エボックを削したの

幾多の懸案を解決せんと

注文総對お斷

黃海道自慢のホームスパン 引張り凧の大盛況

在世保、横須賀、舞館 東京、福河、名古閩、夏、東京、福河、名古閩、夏、

型が経につき総が制造研究を進め 型が経につき総が制造研究を進め

【海州】資品直常局では直内の具

黄油道の對策

事務的打合せをなし國政権助権

キネールでアベツクで

ンハツト時代

| (通用) 近来鑑賞を高めつくある | 間も来手三月程までは如何なる照|| 歌を三立姓堂に指導、破賞を場前・近年別の一次の一次を担心すこととなった。|

百%の成績

十の生間は永年動機の食子主信技 時じはかるといふのが監初。在側 **着ひ五ヶ年間で完全に生何い版** 真だったが全峰に先鞭をつけた 前に建直しあと二ヶ年で手入れ

科學的捜査陣を擴充する

農民の自建により着々機定のコー 川以下帰係常事者の積極的契酌と

東京の大学では、100mの大学では、100mの方式を表現しています。 大学では、100mの方式を表現しています。 100mの方式を表現しています。 100mの方式を表現していません。 100mの方式 100mの方式を表現していません。 100mの方式を表現しています。 100mの方式を表現しています。 100mの方式を表現しています。 100mの方式を表現しています。 100mの方式を表現しています。 100mの方式を表現していません。 100mの方式を表現したる。 100mの方式を表現したる。 100mの方式を表現したる。 100mの方式を表現したる。 100mの方式を表現したる。 100mの方式を表現したる。 100mの方式を表現したる。 100mの方式を表現したる。 100mの方式を表現したる。 100mの方式を表現る。 100mの方式を表現る。 100mの方式を表現を表現るでは、100mの方式を表現るでは、100mの方式を表現るでは、100mの方式を表現るでは、1

入質を低し年後六時から關係者多。の散告に装した往呼の生間知事職いて関膀披露式と官民合同の武道。こめたのであるが食ず技師から右、登三版から設定基長を着します。。

平南警察部

低量は長山中近畿、須藤の四氏は 陳情員上城

直内の選牛は生間学員のの成果を一般として平原商工物副會長、光永 スを辿つてゴールインし、かくて 既を本所智島に陳情のため市民代

雄基の 懸案促進

港級の循水満細題その他の地方間一部分は紛失したものゝ如くとつ 【礁基】雄型が甲の無線である脇一の鮮緑札を成枚にも殴り、

豫算編成を前に悩み拔く 平南道廳の改築案

り、それでは現在要求してゐる學 続に改築すれば假路舎の必要があ 一を前に聴命戦地に悩み取いてある 中郷等が話題に上つてあるが何れ 道師の政策は高く本府の認めると の辿びとなったが、眩厥となると 地が第一番に問題となり現断会 ろとなり阻呼度像がに計上され

命、院書館の各部歴は二十一月事 [重山路] 國院義章、郷平、婦人 悪山の各團體

新所に緊急聯合戦部節を開き目下

(別属は道理音) 形能に遺戯は襲を新たにし午後三年、劉長、呂長、道師職以代表の 住持李観が氏の司式の勢行、郡

[事山縄] 豊総者では第「線の選 | 〇〇方面〈出動中の守備館と第一 | 方規タンス二名、一等十名、二条州 | 東山 署の お 祝 ひ | 飛്所に聚る戦合戦部領で開き目下 | を行つた結果標準接触タンス及三

勇士を慰問

本町野宮派出所で野祭宮、愛護者 本社元山支局長等立台の下に抽籤

521 463 449 359 351 370 607 615 707 319 613 488 518 681 748 303 720 430 387 561 611 460 655 383 621 338 427 679

一本、三等脱渋被一台四本以等大牛一頭一本、二等中牛一を繋配してゐる 機關區助役

十半まで

1 年一節の燃料節約一ヶ年二十回 ・ として百六十萬頭で三十二百萬 L 十萬圓灰となる 上で記さこの経恵子技師の許へ上せた。 た常等を偲び感激に堪へぬ

足の再半分を機能したし、重要機能はある。

【繁集】府コに近五ヶ年間の火災

咸興ラグビ

作内で低低入黄の壁を鍋心が駐極「各男」十九日午町三時半成果な

の奇禍

右足を轢斷

や私性の二種有

増えて來ました。 卜椿豆伊 チ椿豆伊 椿豆伊

居住所に 農場所有にかきる黄疸七十町毎の一勝じきれなくなつたので本年度中。

[海州] 億川郡山川河所在安田記

小作人蘇る

郡の斡旋で

佐然として洋交段却し直南南係で ほぶ鳴をあげてゐるが態上往文に

小既は本年度の婚以上を生産すべ

產生飼

場、本府開席介法路を釈定中であ

ノンハツト氏がシツクな艶の

モダンな香り 伊豆椿ボマード

0

る、野然家の他子は総例教九十五 接跡と五十八部を帯間し十六月

府道内の衛牛十大萬頭を三ヶ年で「C、ロ原六百十人物である。 一代の生闘から「よる」し、お歌日、一代、「原六百十人物である」と新しいお歌日、十代、原が主なもので是が火災争。 「他の生闘から」と新しいお歌日 | 大和町二丁日人戦、黄金町三丁日

担貨等によって出土民民を教助さ 土木工事による意思が 水池交は水を設ける外配数の施見

上旬塔には深ずり総書込みであるんとするもので述くとも来年大日

紙幣變造犯人

は、平瀬名太節起となり厳城中 賦器墜進行便想人の検挙についる 枚数を増して行使してゐた新型の [平期] 九月下旬以來十回、一回 登成學校訓郭松觀未(三)—假名 取の家族を抱へて府内泉幼稚園の そころ府内島町居住の大同郷本

一枚を懸置してみた 愛林思想普及 **鈴津都下で**

しての犯行で、自宅には一回礼士

ことになった 「大き」三葉百名を立の通り決定し 「無常」 会戦部では治山、治水施・総貨削地に對するに関かを形式する。で中町つるや洋脳高で行い等外者 関に治川遺跡を「成衆集略ならしないない」という。 ことになった。 「一」 「おいればない」 (「無常」 会戦部では治山、治水施・総貨削地に對するに関かまに、推進数の引換は本月末日まで 植植物核薬師を押してゐるが今回では非常になった。 なべく過ぎ用場木の伐森棚に続し とになり先づ第二手数として左記 映畵譜演會

た瞬間本紙収質所における認者

館大槻彩 労 品牌等油本語

大 ¥.50 小 ¥.35

夫菊島中

腸は全長三十尺

に除る身體中最大の器質である許 れを動かす築芸は、すべて脚を道 が強ければ、作者、筋肉、肥・吸吹されるのですから、この

一コフ博士も数く通り、 に便秘の話は、メチュ

遊の循環をよくするとかいう!
といいのでは、そのいまを引述させて配

下級にまで悪影響を処す機なことに 別動的に確々の認識を引起し、子 な問題的に確々の認識を引起し、子

こちらのお栗や遊音問室間ひ集 阿部はま子

聞を聞いて見ますと、「鮭熊わ」 め試みましたが(中語)・うと新 心を掴さしめて異れました。職 かもと一の大きな字が私の弱い して來て食事も美味しくなり、 けて服んである内に胸がスーと 分を早く 簡外に 出す方がいくの と云はれる場た国会でも、何の闘をの場合には、極内のアメコール 配目は、日降で頭も上にぬたらう 思節で二日節、あるひに似れ過一級に健康観後に押ひておきますと で、よく、日曜に渡る酒といるの

進ます、母體 は だらく 顕確にけれども、胸かつかへて食事が

かたも次第に元者になりました

なやまされ、夜分も安眠出来ず

く下順と 便能に 識まさました。 いも思えて困りました。 いも思えて困りました。 いも思えて

、側端。身盤も軽くなつて人様

るやらになりました も感心される程識くことが出来

使い(らな をしかなる

も話れ、氣分が朗らかにたつて

いつの間にか便盛も下利も頭痛

は、るアハコールを戻として無世する。 が、現が多少あるからで 本人浴して年とて、残ってあった。 機い理論でありますが、題の選を を 観)の原催で砂質されてのます と音見の含く振音組入の二種が一 から三音は入、一種人の二種が から三音は入っ二種が一 から三音は入の三種が から三音は入の三種が から一音が入り、一部の一種が がり、一般の一種が から、一般の一種が から、一般の一種が できます。

産後に不眠と 胃腸病に悩まされ

り、從つて平均平齢は途を低下 | 欧西となるのであります。 となり、便秘は増ビ上連的の 可衆と思はれる位類値的とな のでは、現るは増します。

あらゆる病氣の

しても専門家の研究ではといふことになりますが、それに 1000 パラムのブルコー

粉乳の正し

\$

ii.

健心

康,

を増

まづお肌を

整へること!

三 二 セン

ウテナ

N. Control

ŋ

お化粧の 第一課は

淡化粧下に

理想的

い選び方

上は體内に激散して中海作用をす。且職者こ人うたアルコーレ版とすルは有効に利用されるが、それは「来を護陣しますので、配行中や體 組織内に入ったアルコール節を分 腎臓災や浮腫等の場合には利尿効 せて無難にする動きもあり、また

この「蘇利わかもと」は東京学院されるのです りもないといふ様な事は、腱々組

であります

で寒冷な

1

あ

事

to the

ŧ

す

つても

决

乳化の完全な良質クリームです

つも凝郁の

若肌を!

サラリと気持よく肌に消え込ん

て、餘分の脂肪や色素を解消し

素晴しい整肌クリームです。

いつも激刺とした若肌に整へる

皺や弛緩をひきしめ

はありません

母様方にとつて大切な事 動に注意を拂ふことはる

初乳を選ぶ際に特に此の

年の冬のこととて、ケ月盤何もして、ひどく動り、絵解巻い今して、ひどく動り、絵解巻い今して、ひどく動り、絵解巻い今

の微弱が緊痛し、凝便を腐敗させ

既を動けて避免を焼 正んにすいるとか、肥 正んにすいるとか、肥 飲み過ぎ二日醉にはこの手當

なります

賞に富む的物性の食師、所謂美 食を獲り作ら復富すれば、物配 便化、高血源、肝硬難等の情報 を起すことは一般に知られてる ます。 人體にあつても、脂肪、蛋白 はなり、入浴もまた脚を取れる郷に でなり、入浴もまた脚を取れる郷に である思す腔激があります。これな ま含にお彼めし使いいは左傾 などでよく知るら

いふことになりとここ。 果が苦しいのですですからお酒を喰む人は、成町 源にし、新陳代謝を旺盛にする体を住を避けて発食した方がい、 果が苦しいのです。 うちぬ損害を 内の製金を吸着、あるひは服をまた「健闘わかもと」には、 、寒としたもので、種々の健素が リフェという微生物を活在のま 、ホハモン作物質等な あるひは敗化さ

化不良の原因となります性が強いため往々下期間 粉乳類には砂樹や乳棚の 母乳の代りに用ひられる

ありますが、と事は機様 多蟹に焩へられたものが

を取料とし、之に栄養園高 除くために、新鮮なる牛乳 キノミールは斯かる放乳を の得られないが、新しく 個粉乳にて思はしい交鐘 御を加へて調製されてある かなく、間化吸性原めて具



でありますから、いろくへの顕煌でありますから、いろくへの顕煌 部を強い動かず力が不足する

から

宮や組織が早く老装し、短途に終してありますが、既に便秘書に殴ら ありません。 それは 種型メチニコラの名言

いる所であります。 腸の弱い人は短命です

・ 一 地を除く當には、勿爺 その総合作用によつて、胃腸の組 貴重成分を含有し

養鷄及家畜飼料

(開題以入上)

澤浦精米所飼料部



を経び、前肢を増加させ、膨弱な 優秀な繁姿を含んでゐて、鹽組織 中には、アミノ酸、グリコーゲン 老数を繋げることが出来るので **閲覧をも改善して、天際を全うさ** カルシウム、ビタミンA・B・等 あります。その上「鍉懸わかとも 此の築て早くお治 ます、軽いうちに と直ぐ頭を悪くし 外用塗付藥 定價 二十號 三十錢

せることが出来ます。

ごんな人が

長生する

述の様にいの自著作用も活意形成

たり便秘の歌を防いで、自老、

定評ある

に身全・者行ージンヒのンバーダ度印度 ってきを針の上以本白六

明るい自然美化粧が出来ま 地脈の調子を巧みに生して

に明澄度がありますから

肌に最も適し、 特に粒子の細 能を競揮するの

それに非常

ごは東洋人の のです。 一名の四大性 (クズレヌ) の素晴 の素請 の素晴 の素晴

これで鮮やかな

れてゐますから

粒子に獨特の新工夫が施さ

自然美化粧が出來る!!

三二セン

能効果を發揮します がおいいで がが自由について がい自由について がはのいて がはいがしますから 雪 £Ω

店商吉政保久舖本年程等

生かす八名個性美を 白健濃肌 オークル二號 ブ ナチユレル JL 康肌 Ê 色色色色

算さを知れ

森木近編即に開務主任の提唱し

と時間を無駄使ひしてゐては
々が、意味のない返年會に金

めぐりコースにそふて午後六時 の寝りを開いた、それから城里

歩七八營庭を中心に

集小門に着いたときはみんな

公明らかざらに大きを話し

の風様な一味に道

在のため商上省では二十一日午

現取官語。左去澤ダム決議戦因一分利編業態長を急減した、同ダム 八世立花川松響山監督局長、佐一響に基さ外面は開水総士で練り上近のため覇主省では二十一日午「は明和六年春上、石鉄と第土聡明」

間は尼古門護田から三辺本社への低を間はれるものと見られてある

のさへあるので、腹底の如何に依 出さんと | 家庭製しにするだいで、あるので、腹底の如何に依 出さんと | 家庭製しにするだいで、おおれたと就塞して不認の形 | 大統判である

一数を脚ました、急慢に疑した大同と主人と汚迫、現金三回を掘つて

5監督とも其の施設工事不備の背

から下流住民に立思さを命じなかれて居り気状の際危機と幾知しな

Ø

森城部隊横井中尉の損仰する一名

脱くことになった、朝鮮の弓道の

方に於て開放八十名と交難の後こ

脚と初めての財産機であり、

火藥工場爆發

この者はな生職機器と新進の學生

「東京廿一月同盟」山岡和館港下

我軍一名戰死

拠り、その第一四職を廿二日午後

一時から京城京河町政治に道里で 哪盟對与友質の定期職は庶よ語が

臟器製治療劑

かねて受渉を重ねてゐた學生用道

匪團を撃破

既能修理を行はなかつた胃傷へらを行つたが、折思く泥濘のため微

名の観が押入り「おとなしく金を 华南大同都大竹面《川里二六二金

水升さん、二方へ學生服を着た三

疑問の點を調査に

決潰した原因

山上で岩下隊長の訓

止年のサイレンに解放されサラ

みと楽しさらにはつてゆく デーでなるできくくる民間

りに沿るて行道・「生河政選」て本府正門から孝子町綿ル川通

衣を脱いで間にめげの何事だら 腰に経は、

察ぢて北岳の頂へ 北門右側にら本形製山の域壁を

があり満垣な切冬の至の下

は充編一杯、和編製やと解散しの焼火をあげたと自貞する解封 の有益表な脳しで。生活既善を

於て覆脆される大族至海雪の朝間

するほか、配地行機からの焼店頭

日を展展されているの月経りを無く神祇はで、けるの月経

防脈の活躍をはじめ優勢な顕著行及ひ場響数下による火災健生と消

と共に、對在火器を以て

気を腐らせたが一停電には前っ

智勝内の有客細菌は投資され、 智勝内の有客細菌は投資され、 行と題の格契の突症、標度か 治療されますから、回道が早く今 までの質器學と適つた効果が、よ までの質器學と適つた効果が、よ

殿内は東大門製作所の故障

明、一時製り けふの天気

阪商人が挑戦

めてゐるが今度は新春山岳の熱等しい切り立てたやうな蛇い山頂を

院学智能の普及に努めること

俄然多山征服の爭覇戰

期を期して大阪面大山岳部が赴原

同山は半島でも多一は非常に出目されてみる

火災季米な――で京城消防署は来

消火器の檢査

氣象特報——1日

めて登山したもので冬の同山登破

倒位にやゝ疲ればしたものゝこ 岩下隊長の訓し四時間の城堡

城分層の動語経験式に引つづき、

午後二時から一時間に重り公明さ

動、通信隊、無罪、配難通信、 の関本により第分院が開始の指示を対域に関する政法に次で、観小及 (F) 場に関する政法に次で、観小及 (F) 場に関する政法に次で、観小及 (F) 場に関する政法に次で、観小及 (F) 場に関する政法に次で、観小及 (F)

般國民の對発動作を除興所で實施

兵器外別的近を原化すると共に一

廿一日午後四時十分ごろ草

心心 概!

元町万面

修肝烈の協面を展開し

| 歩兵第七十八線艦で開催で郷 豊京 | これは共尾甲冑の防空意識が脱電、甘二日午後一等牛から龍山 | 流習とも貼いれるものである

新兵器を出し軍民一

致で華々しく

一前突如大青線と共に爆破し死者。 早名、京場省は一名を出した

【ローマ廿日同出 イタリー前子

伊のミラノで

△と岩下隊長から山頂の

たし功成でま風九分九の途肚【盟周障礙】 所の難遭氏一ピヤジ 氏ーピヤジ家行所師だし態度で山路音の下原四佐、おは葬見に焼天型幸不、明直ルココが 来出世再月一年日、で東元る頃、カゲ中原加発入へ記討大九、伊頂所ケニに思国大左側は (修修の後1ピヤジ集別たし落壁は連盟)るあでみ込見る

2000と制明し、関係各機関は事件を極度に重視してある

背後には思想的魔

語こここれを追配してゐる

闘東軍事態を重視

(電験館に中央軍の使派によるもの)

脚道路が昭和十四年三月卅一日經|新市部を**地**び、総間道路的彫想帯「京城府の松荒脇をほじめ、飛職京、この博授館は且下着15中の曽山總|成を見るので、博<mark>教館</mark>書は青川裏| **392円表**| を築すると同時に、

五十萬圓を投じて大規模に 四月一日から五月迄五十日

古田少佐ら十五邦人

歐洲から大量選手の半島通過、滞

東京オリムビック大層開催を機に |在が整想され「國際文化都市京城」|を出述せよし

として恥かしからぬスポーツ殿堂

より、スポーツ各別級部門の役員

てから競技場の新施設、搬売につ

自局に質場運進方を進言したが、 いて織々研究懇談を重ね、京城府 ポーツに日パーセントの理解を

先づ卅餘萬圓を投す

昇城府土本課から案を發表

が一手に拉致さる

山海關から凝縣にゆく途中列車から

無暴極する昌黎保安隊員

花の南部京城を飾る

石績を回顧し將來の飛躍に備へん

在政

職域決議し前衛連

記載の

質励を

見るなど

類進の

一途を
辿りつ

よあるわ 来る昭和十四年度は府制施行二十五紀年に相當するので、 府制廿五周年の記念

一城の全貌を眺めて観光京城として 期も花の四月一日から五月廿日主 での五十日とし、約五十英国を投 もくまなく質像に努める語で、肌 行するが大な計算である 後援を与ぎゅくし

緊
能の度を加へて来たので、
座上 個原地駐田に伴ひその連絡は益々 器質・流川軍計令官との領型によの質地を見なかつた、處が過級南 あたが、人間の都合で今まで**そ** とは、事務の連絡上必要とされ 安東省點何縣縣務局督

京城中央卸費市場新設の第二回想 要到野は二十一日午後一時から 東京大會を前

中央市場 既設市場も 收容する

選絡を闘る

日系警士と

た、なほ南大門市場、水産市場の 問答申を行び間五時半過ぎ暗筒し

使用鎌令その他につき各受政の謝・壁と見られ、中央市場の十二年度 財神解納で開始、収等方法、市場 | 容開像から雨市場の鑑園意楽は宝 米すでの意業別限にある中央物産

と見られてみる

平南大同郡農會肥育

平壤牛肉

きやき 京城旭町入口 味の店ほあぐらん 電本(2)1289番 同 4684番

就力を失つて居るものに耐しては 最六百億戸に對し消火器の一奏線 防署と最深署 A 消防器で名詞の配揮及び凝の補頭 に検査を質励し火災季に備へる事 となり、不完全な消火器及び腹の 丸となって組織

全消火器の絶滅を期することに発 消防器へ特勢して遺域なく検査 めてゐる

日本樂器會社出張所(京城本町一・市本(2)三四(五

病人婦城京

植物病科科學學是沒有

城武藤王 治泰本松

※ 京日案内

ルトクド問題

日滿兩國間 送金便利

十二月より實施

持つ甘蔗が手があるととて怨も成一年織性事業として既行するのであ 野原現在の所に盛では困難でありれば自然十萬の巨衆を襲するので 会 スポーツ各部門の 要求 全部を に置を投じての既信報である、勿 府としては全部背質が切れれ状態 哲を形場化して送金の便を踊つ つた、この取扱ひ方法脈に佛込、 野便振器と同様であるばかりでな 振符及び帰出料金などは總で内國 が今回返に兩國間の郵便振費的な 月頭南國間は遥に南遠側の野便 による送金制度を削売し来る十二

(CH) (C)

富斯丁目 塩井醫院 電影丁目 塩井醫院

告

居所知せ

M R (BUN-HAREN)

男兒鬼鬼と変した月川歌に選上げたし

京城府光顯町一丁目一四四

告に殴り特に資田にて規載す類増料金は即納の事但就職協関工十銭匿名は一回毎に五十五號店字十五字語一回五行一五號店字十五字語一回五行一

4

のやうな敗修計批繁を継載した

新文二十一日安共特派員第1 由海 劉宇倫族長古田龍三少佐,副旨松尼新二大島、瀬縣守龍縣長水松亭二大尉、高木県原軍 ・64 「近年である。 一般劇場を健康され、領地してるた日本人中名と地に運要された、金融に戻した山海側等像総では直もに収扱っため出物を動場を健康され、領地してるた日本人中名と地に運要無に向ふ途中、同中してんた高層像安徽的五線五中線行っために、1940年では、1940年で、1940年では、1940年には、1940年では、1940年には、1940年では、1940年では、1940年には、1940年によりには、1940年によりには、1940年によりには、1940年では、1940年によりには、1940年では、1940年には、1940年では、1940年には、

产品产数 新型

华南大同面

人組の强盗

脅迫して三回啞奪

れることになつてゐる 學聯に弓道台 けふ手合せ

合作面は用里二大二金 郷中 地自生後十一時ころ。郷では非常磐砂線をはり個人を組

地球の筆

は切らずに治る/ 棚工人間の小棚式脱腸布で ・ 東京新田名田町(中、欧 イ(四) ・ 東京新田名田町(中、欧 イ(四)

ħ

大理劇日随時で話(2)宝七三三 京城南大門連周霞藤ピル内 京城タイピスト県影 東、北文科、港俊美 東、北文科、港俊美

架女

低告なり。 では対して作用する純繊器契約にして、アコに対して作用する純繊器契約にして、アコに対して作用する純繊器契約にして、アコルの一般的複数又は危険なる厳酷性物物を含ま

ストモリジン

京城南大門 天 福 派 館木人縄来続下さい 乗 解 派 館

電

一位依式意料の資料を含めている。 日本電券ま式資料 一位依式意料の資料を選集店園及別能評な行取的時間に要求、 名古経中協権

(吸入療法 (文献、既明書進呈す)

(飲米各國に於て常用さる、アストモリに習慣さなり或は効果不充分の場合。

特别案贝

年恩 金給 特別立替

サンを服用すれば………… 年の優性胃腸病も、新胃腸悪トモ 急性の下痢、嘔吐、腹痛も、永

判の新胃腸薬

九〇紀入(十 月 是) じつ 二七・紀入(一ヶ月是) 一 五〇 八〇〇紀入(本 用)三四七〇 夢店にあり

京城區的 克米西三天四年

